

**第2期ロジスティクス環境会議  
グリーンサプライチェーン推進委員会 第9回源流管理分科会 議事録**

I. 日 時：2007年11月9日（金） 15：30～18：15

II. 場 所：東京・港区 （社）日本ロジスティクスシステム協会 会議室

III. 出席者：10名

IV. 内 容：

- 1) 勉強会
- 2) 分科会活動
  - (1) チェックリストについて

V. 開 会

事務局より開会が宣された後、以下のとおり議事がすすめられた。

VI. 議 事

1) 勉強会

以下のとおり、勉強会が開催された。

- (1) 大和物流 水頭委員  
「大和物流における調達物流共同配送の取り組み」

2) 分科会活動

- (1) チェックリストについて

事務局より資料1に基づき、第8回分科会以降の経過について説明がなされた後、資料2-1、2-2、3-1、3-2、参考資料1に基づき、チェックリストの評価軸項目について検討が行われた。主な意見は以下のとおりである。

**【主な意見】**

(定量的設問について)

幹 事：定性的な設問が多くなってしまうことはやむを得ないが、ある程度定量的な設問を設定することも一案ではないか。

幹 事：特に基準値があるわけでもなく、また業種によって値も異なることが想定されるため、定量的設問を増やすことは難しいのではないか。

幹 事：定量的な設問を設定するにあたり、トライアルを実施することは可能かどうか教えていただきたい。

事務局：委員会メンバーを対象に実施することは可能と考える。

幹 事：設問を絞った上で、トライアルを実施することが望ましいと考える。

(チェック項目 41)

委 員：4項目とも“小箱包装の見直しや廃止”としたほうがよいと考える。

(チェック項目 (42))

委 員：チェック項目 42 と同義のため、削除してよいと考える。

(チェック項目 45)

幹 事：“システム化”の意味について教えていただきたい。

委 員：運搬容器やパレットの管理について、システムを用いて実施しているという意味である。

委 員：その意味であれば、チェック項目に“管理”という語句を追加するとともに、“リサイクル”

は不要と考える。

委員：ビールパレット等の仕組みも“システム化”と捉えてよいか教えていただきたい。

委員：広い意味では“システム化”に含めてよいと考える。

幹事：『できていない』には全社的に実施していないという意味を含めるべきと考える。

(チェック項目 52)

幹事：『よくできている』は、原案の意味も加味し、“リードタイム等の見直しを含め、使用の拡大に向けて検討”といった表現の方が適切だと考える。

(チェック項目 53)

幹事：配送を強調するのであれば、チェック項目の“輸送ルート”“輸送回数”“輸送計画”を“配送ルート”“配送回数”“配車計画”に変更すべきと考える。

委員：『遅れ気味で努力不足』を“検討している”、『まずまず出来ている』を“取組みつつある”に変更してはどうかと考える。

(チェック項目 54)

委員：チェック項目 53 と同様に、『遅れ気味で努力不足』を“検討している”、『まずまず出来ている』を“取組みつつある”に変更してはどうかと考える。

(チェック項目 (56))

委員：当社では求貨求車システムは帰り荷の確保のために自社システム等を積極的に活用しており、項目としては残してもよいのではないかと考える。

幹事：“求貨求車システムを利用している/していない”ではなく、“帰り荷の確保のための工夫をしている”といった設問にしてはどうかと考える。

(チェック項目 57)

幹事：“～すら行っていない”という表現は強すぎるため、“～したことがない”に修正したほうがよいと考える。

(チェック項目 64、65)

委員：グリーン物流とは直接かかわりのない項目と考えられることから、削除したほうがよいのではないかと考える。

(チェック項目 66)

幹事：『よく出来ている』の燃費値等を捉えるためには、チェック項目 67 にあるデジタコが必須になるのではないかと考える。

委員：通常のタコグラフでも現実的には不可能ではない。

幹事：チェック項目にある“マニュアル等を用い”が評価軸の中には含まれていないのではないかと考える。

幹事：数値管理とともに、“勉強会を継続して実施している”といったことを追加してはどうか。

幹事：事故率が必要な理由を教えていただきたい。

幹事：運転が乱暴だと事故が多くなることもあり、当社の事業所でも管理指標の1つとしていた。

(チェック項目 69)

幹事：『出来ていない』の“全く”、『遅れ気味で努力不足』の“あくまでも”は不要と考える。

(チェック項目 31)

幹事：行政施策については、まとめて1項目にすべきと考える。

委員：評価軸については、資料2-2の1項にある方針どおりでよいと考える。

(チェック項目 32、33)

幹事：参考資料1にあるエコルールマークの認定基準に準拠する形でよいのではないかと考える。

(評価軸の字数について)

委員：意味が通じる範囲で、思い切って字数を削除してはどうかと考える。

幹事：見た目のバランスもあるため、短いパターンと現状パターンで比較した上で決定してはどうか。

(参考情報について)

幹 事：最終的にはできるだけ埋めることが必要だと考えるが、その場合は団体等の情報の方がふさわしいと考える。

【決定事項】

- ・チェック項目 40 から 49、52 から 54、56 から 63、66、67、69、31、32 の評価軸が確定した（別紙参照）
- ・チェック項目（42）、64、65 を削除する。
- ・以下の項目については、事務局で原案を作成することとする。
  - ①チェック項目 30
  - ②チェック項目（56）
  - ③行政施策に関する項目
- ・チェック項目すべてを見直し、“全く～していない”、“～すら”といった表現を修正する。
- ・評価軸の字数が短いパターンと現状パターンの2つを作成し、比較することとする。
- ・定量的な設問項目については、別途検討することとする。

(2) 今後の進め方について

第10回分科会については以下のとおりで開催することとなった。

日時：2007年12月6日（木） 16時～18時

会場：JILS 会議室

詳細については、別途事務局から連絡することとなった。

VII. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了した。

以 上